



第27回認証審査委員会（9月7日・8日 於：JFE スチール（株）東日本製鉄所（京浜地区 他）

前回議事録の確認後、①認証業務の実績及び22年度見込み、②水道用ポリシリカ鉄規格（JWWA K 159）制定に伴う認証登録を行う薬品符号等の追加について事務局より報告し、続いて議案の審議に入った。

議題①平成22年度登録維持料未納に伴う認証登録の取消、議題②今後の登録維持料未納による認証登録の取消、議題③認証業務規程における特別基準の検査方法の改正（下記の9つの検査方法）については、質疑の後、それぞれ原案通り承認された。

JWWA K 116（水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管）

- ♪ K 140（水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管）
- ♪ K 132（水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管）
- ♪ G 119（水道用波状ステンレス鋼管）
- ♪ H 101（水道用鋼管）

JV 10（不凍栓）

JWWA B 134（水道用減圧式逆流防止器）

- ♪ B 130（水道用直結加圧形ポンプユニット）
- ♪ S 102（浄水器）

未納料金対策実務研修会（大阪第2回）（9月16日～17日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々77名の参加を得て、未納料金対策について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションに於いては、活発な情報交換が行われた。

水道事業管理職事務研修会

（東京会場：9月16日～9月17日、大阪会場：9月30日～10月1日）

東京会場37名、大阪会場50名の参加を得て「水道事業の現状と課題」「地方公営企業会計制度等研究会報告書について」「地下水利用専用水道等に係わる水道料金の考え方と料金案」「水道事業の会計制度と財政の現状について－決算書の見方と留意すべき経営指標等－」「水道事業における危機管理－水質及び管路事故対応を中心に－」について研修を実施した。

第50回水道 GLP 認定委員会（9月28日）

水道 GLP 認定について、新規検査機関として福井市企業局（申請番号：JWWA-GLP067）が、認定維持検査機関として宇都宮市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP041）が、それぞれ審議され決定された。

水道 GLP 認定証授与式（9月28日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した周南都市水道水質検査センター協議会（申請番号：JWWA-GLP065）の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第646回抄録委員会（10月1日）

本誌1月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

平成22年度浄水場等設備技術実務研修会（第4回：10月5日～10月8日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々14名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第6回公益法人制度改革に関する定款変更専門委員会（10月12日、13日）

東京都水道局の加藤担当部長が議長となり、議題1「第5回公益法人制度改革に関する定款変更専門委員会議事録の承認について」、議題2「新公益法人制度への移行について」が上程され、審議が行われた。



第178回常任理事会（10月19日 於：松山全日空ホテル）

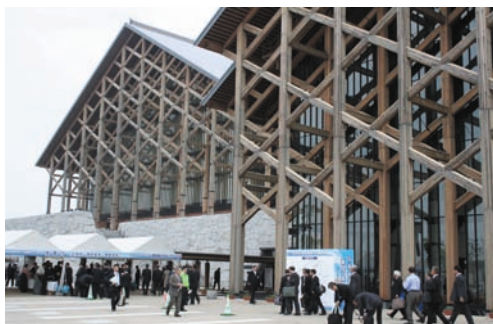
渡邊松山市公営企業管理者から総会開催地代表挨拶の後、御園専務理事が議長となり議案の審議に入った。第1号議案「日本水道協会第79回総会の運営について」、第2号議案「次期総会の開催地について」、それぞれ事務局より配布資料に基づき詳細な説明があり、審議の結果、原案のとおり決定した。また、次期開催地に内定した吉田北九州市水道事業工業用水道事業管理者より歓迎の挨拶があった。



第79回総会（10月20日～22日 於：愛媛県武道館）

第1日目（10月20日）

開会式においては、開催地代表として中村松山市長、日本水道協会を代表して本会副会長の高谷岡山市長から挨拶があり、次に厚生労働大臣（代理：粕谷健康局水道課長）、総務大臣（代理：笠井自治財政局公営企業経営企画室長）、愛媛県知事（代理：上甲愛媛県県民環境部長）、田坂松山市議会議長、幡掛日本水道工業団体連合会会長から来賓祝辞があった。



総会会場：愛媛県武道館



開会式



日本水道工業団体連合会水道展



歓迎挨拶：
中村松山市長



開会挨拶：
副会長高谷岡山市長



厚生労働大臣祝辞：
粕谷健康局水道課長



総務大臣祝辞：
笠井自治財政局公営
企業経営企画室長



愛媛県知事祝辞：
上甲愛媛県民環境部長



祝辞：
田坂松山市議会議長



祝辞：幡掛日本水道工業
団体連合会会長



議長：渡邊松山市
公営企業管理者



事務常設調査委員長報告：
楞川大阪市水道局総務部長



工務常設調査委員長報告：
吉田東京都水道局浄水部長



衛生常設調査委員長報告：
伊佐治名古屋市上下水道局
技術本部施設部水質管理課長



監査報告：豊田監事



次期総会開催地挨拶：
志賀北九州市副市長



閉会挨拶：御園専務理事



厚生労働大臣表彰



日本水道協会会長表彰

続いて表彰式が行われ、はじめに厚生労働大臣表彰として粕谷健康局水道課長より松本孝芳氏他76名の受章者に対し表彰状と記念品が贈られた。これに対して受章者を代表して、江郷道生氏より謝辞が述べられた。

次に、日本水道協会会長表彰が行われ、本会副会長の高谷岡山市長から功労賞として小山隆氏外9名、特別賞として岡本健氏外103名、有効賞として佐々木史朗氏外4名、勤続賞として宇田賢司氏外821名に対して表彰状と記念品が贈られた。これに対して受賞者を代表し、小山隆氏から謝辞が述べられた。

その後、定款の定めにより開催地の正会員代表として渡邊松山市公営企業管理者が議長となり議事に入った。

初めに会務報告として、事務局より平成21年度本会事業の活動状況について、配布資料に基づく詳細な説明があった。

続いて、常設調査委員長報告として、事務常設調査委員長報告が楞川大阪市水道局総務部長より、工務常設調査委員長報告が吉田東京都水道局浄水部長より、衛生常設調査委員長報告が伊佐治名古屋市上下水道局技術本部施設部水質管理課長より、それぞれ報告があった。

昼食休憩後、議案の審議に入り、第1号議案「平成21年度日本水道協会会計決算の認定」、第2号議案「平成23年度日本水道協会会計予算」について、事務局より提出資料に基づく詳細な説明があり、慎重審議の結果、両案とも原案のとおり決定した。なお、第1号議案については、事務局の説明に続き監事を代表して豊田富雄氏から監査報告があった。

その後、会員提出問題の討議に入り、補助関係として、問題1「水道事業に対する財政支援の拡充及び補助要件の緩和について」、問題2「水道施設の再構築事業等に対する新たな財政支援体制の確立について」、問題3「簡易水道統合に対する財政支援について」、問題4「現行補助制度の存続又は地方への一括交付金の水道事業会計への直接交付について」が一括上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、災害対策関係として、問題5「水道施設の災害対策等に対する行財政支援について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することとすることと決定した。

続いて、起債・繰出関係として、問題6「起債融資条件の改善及び地方公営企業繰出制度

等の拡充について」、問題7「公営企業借換債制度の拡充及び条件緩和並びに政府資金の借換債制度創設等について」が一括上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、水源関係として、問題8「ダム等の水源施設の開発促進について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

引き続き、水質関係として、問題9「水道水源における水質保全対策並びに水質事故の発生防止の強化について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、その他として、問題10「地下水利用等による専用水道に係る法整備及び対応について」、問題11「水道技術者（布設工事の監督）の有資格要件の見直しについて」、問題12「水道設計業務委託に関する歩掛の充実について」、問題13「公民連携による水道事業の海外展開の推進について」、問題14「指定給水装置工事事業者研修会について」がそれぞれ上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

第2日目（10月21日）

前日に引き続き会員提出問題の討議が行われ、問題15「水道メータ検定有効期間延長について」が上程され、討議の結果、関係当局に陳情することと決定した。

次に、問題16「上水道施設に係るCAD製図基準の策定について」が上程され、討議の結果、事務局において今後検討を進めることになった。

また、会員提出問題討議の終了時会場より、民間企業が持つ経営効率のノウハウを最大限に活用するために、業務委託の一層の推進について検討をして欲しいとの要望があった。

続いて、粕谷厚生労働省健康局水道課長、笠井総務省自治財政局公営企業経営企画室長から、行政説明として、施策などについて説明があった。

次に、次期総会開催地について、定時総会の開催地は、定款の定めにより、あらかじめ前年の総会で定めることとなっているため、第178回常任理事会に諮った結果、北九州市と内定していただいていること等を事務局から報告し、報告のとおり満場一致で北九州市に決定した。続いて、次期総会開催地を代表して志賀北九州市副市長より挨拶があった。

続いて閉会式に入り、日本水道協会を代表して御園専務理事より挨拶があった。

なお、休憩後には、「坂の上の雲 子規のふるさと松山—子規と真之と漱石—（講師：竹田美喜氏 松山市立子規記念博物館館長）」と題した特別講演を開催した。また、午後には、「水道の海外ビジネス展開—その展望と課題—」をテーマにシンポジウムを開催した。



特別講演：竹田美喜氏「坂の上の雲
子規のふるさと松山-子規と真之と漱石-」



シンポジウム：水道の海外ビジネス展開
-その展望と課題-

第3日目（10月22日）

事務局設定3コースに分かれ、松山市の水道施設等を視察した。